

2009年
12月
10日

Terra[®]
madre
day

地域のもものを食べてお
祭りをしましょう。



Slow Food[®]

www.slowfood.com/terramadreday



地域の食を見つけるのは今です。

スローフードは世界中でテッラ・マードレ・デーを企画しています。12月10日に行われる今回のものが第一回となります。すべてのコンヴィヴィウム、食コミュニティ、テッラ・マードレとスローフードの考え方に賛同する個人は、何かしらイベントを企画していただきたいと思います。それは自分のいる地域で行われるもので、小さいものでも趣旨を反映したものである必要があります。全員がこの機会を情熱をもって活用するならば、食の生物多様性をテーマにした世界で最も大きい集団アクションの一つとなり、私たちの力は歴史的な意味をもつことでしょう。そしてコミュニティの中の小さなアクションがこれだけの大きな規模になるということは素晴らしいことです。どのような革命も地域に根ざしているものですから、倫理的で創造力あふれる形でコミュニティ自身が代表している場所からスタートしなくてはなりません。コミュニティによって行われる日常の行動こそが、食料の工業的大量生産という世界レベルでのアプローチに対抗することができるのです。記憶に残るような一日になることを願います。それは私たちに刺激を与えてくれ、長いスパンで食のシステムを変化させる、この世界ネットワークに属している私たち全員が、あらゆる場所で推進している活動に誇りを持つようになるでしょう。

皆様のオーガナイズするイベントの情報を待ちながら、楽しく、心にのこるテッラ・マードレ・デーになるように祈っています。

カルロ・ペトリーニ
スローフード国際協会 会長


Slow Food®



テッラ・マードレ・デー第一回は2009年12月10日に行われます。その目的はスローフードの20周年をお祝いすることと、地域食システムを正しく評価することです。テッラ・マードレのネットワークは、小さな規模の食品生産者に発言と露出の機会を与え、料理人や大学関係者、若者、消費者と対話をさせるために、2004年スローフードによって考案されました。その目的はおいしく、きれいで、ただしい食システムを創造するというものです。工業的な農業が台頭するこの世界で、テッラ・マードレは地域の小規模の持続性生産モデルを支持します。それこそがスローフードの哲学と価値観を代表しているからです。テッラ・マードレ・デーは、世界に広がるスローフードのネットワークによって行われるお祝いです。そこには150カ国以上に及ぶ協会活動に参画する10万人の会員、2000の食コミュニティが含まれています。イベントは家庭や農場、学校やコミュニティ、町や田舎で、ニューヨークからニューデリー、トルコからタンザニア、オーストリアからアルゼンチンまでで行われます。地球の隅々まで、このイベントは地域食材の価値や普及したり、次に挙げるようなすべてのコミュニティの権利を主張したりするために役立ってくれることでしょう。



おいしく、きれいで、ただしい食へのアクセス

すべての人がおいしく、きれいで、ただしい食を得る権利を持っています。五感を満たしてくれる、地域文化に属した、環境や人々の健康を配慮し、生産者の扱いや賃金を保証し、購入しやすい価格と消費者にとってフェアな食べ物、新鮮で美味しい食材で作られた日常の食べものお入手する権利を持っています。食の喜びと責任感を結びつけて、離れないようにしなくてはなりません。



農業と食の生物多様性

前世紀私たちは食の生物多様性の80%を失いました。3分の1の牛・羊・豚の種類がすでに絶滅してしまったか、その危機にあります。300種類の野菜を失い、6時間に1品種の勢いで絶滅し続けています。スローフードは、栽培や加工法を保護し、栽培されているまたは自生の品種の生物多様性を保護しながら、伝統食材、持続性のある、品質の高い食品を保護しようとしています。このようなことが食の安全というテーマにおいて基本的な要素なのです。



小規模の食料生産

工業的農業とグローバリゼーションによってもたらされた、生産量主義システムは失敗してしまいました。何億もの飢えた人々に食物を与えることもなく、大地と水を汚染し、人類全体の地域的アイデンティティを破壊し、生物多様性を著しく減少させました。地域コミュニティに根ざした小規模生産だけが、未来の持続性のある食を保証してくれるのです。農業と漁業への最良のアプローチは、特に世界のより貧しい地域のものへのアプローチは、周りの環境と調和している地域文化とコミュニティの知恵を尊重したものでなくてはなりません。



食の主権

どの民族もその知識を保存し、何を栽培するか、何を食べるかを自分で決めらるるのではありません。特に発展途上国において伝統農業と知識の保護は、コミュニティ自体とその文化の生き残りに関わってきます。小規模農業の生産者は、多くの場合自分の土地を失い、その土地はバイオ燃料の生産に使われるか、輸出用の食品の生産に使われてしまい、地域の食品生産は捨てられてしまいます。同時に最も重要な資源をも失うのです。それは種です。多国籍企業は生産率の高い種子を登録してしまいます。それは肥料や農薬を大量に使わせるのです。そして輸出用の単一栽培のために、農民に伝統の種子をあきらめさせます。



言語、文化、伝統知識の保護

すべての民族は自分の言語、文化、伝統の知恵を保存する権利を有します。「食コミュニティ」という表現は、食や農業、伝統、文化をベースにした地域経済という新しいアイデアを表現するために発明されました。コミュニティとその労働の価値を認めながら、小生産者の知恵を尊重しながら文化的尊厳を取り戻しましょう。このようにして土着のコミュニティに対して、自分の文化や伝統をプロモーションし、次の世代に伝えるための手助けができるでしょう。



環境に配慮した農業

農業と環境は緊密に結びついています。農業と漁業は需要と供給の法則にしたがう単なる経済活動であると考えすることはできない。食品生産から化学薬品を除外し、大地の豊かさを守り、水と生態系のクオリティを守り、廃棄物の量を減らし、代替エネルギーを提唱すべきである。



フェアトレード、持続性商業活動

社会的公正とフェアトレードは、生産者への適正な賃金、消費者へのフェアな価格設定、文化的差異への理解と尊重を通して実現可能です。持続性農業にとって重要なのは、生産ラインの短縮化を進めることです。地域食のネットワークは、輸送を少なくすることで環境インパクトを軽減し、地域食を再評価し、伝統文化の保護に貢献するのです。さらには仲介業者を少なくすることで、生産者にも消費者にもより良い経済効果を得ることができます。



スローフード20周年記念

スローフードは工業的生産による標準化から、食の喜びと地域の食文化を守るために1989年に創立されました。ガストロノミーが農業や環境、コミュニティの健康と分ちがたく結びついていることを認識することで、スローフードは次のステップとして、協会の目的の中に、持続的で地域的な小規模生産をしている生産者の保護という項目を入れました。この目的を具体化するために、1999年にプレシディオ計画が生まれ、地域経済を補強し、パンやサラミ、チーズの消滅を救いながら、世界中の何千人という生産者を引き入れることになりました。テラ・マードレの世界ネットワークは、2004年にスローフードによってスタートを切りました。それは農業者や畜産業者、漁師、手作りの食品生産者たちに声を与え、露出させるためのもので、彼らを料理人や大学関係者たち、若者、消費者と出合わせ、生産システムをどう改良するか、地域経済の強化をどうするかなどについて議論をさせました。現在テラ・マードレのネットワークは、2000以上の食コミュニティをまとめています。彼らは生物多様性、食のクオリティ、知の番人なのです。スローフードは20周年をテラ・マードレ・デーと共に祝いすることにしました。それは食コミュニティとスローフードのネットワークのお祭りでもあります。それはコンヴィヴィウムという地域グループにまとめられ150カ国10万人によるものです。コンヴィヴィウムはスローフードにおいて常に主要な役割を担ってきました。そしてイベントなどを通じて世界中に哲学を広めてゆくのです。スローフードは数多くのイベントやプロジェクトを世界中で開催します。それは地域から国内レベル、国際レベルに至ります。これらのイベントは4つのキーワードのもとに企画されます。それは食の生物多様性、食教育と味覚教育、生産者と共生産者（生産サイクルの短縮化のために）、ネットワークの発展です。

スローフードとテラ・マードレについてより詳しい情報は…

www.terramadre.org

www.slowfood.com

生物多様性のためのスローフード基金は、小生産者のコミュニティを強化し、食の生物多様性を保護し、伝統食を守り、新しい経済モデルを提示しながら地域文化を再評価し、世界でそれを実行に移します。その主な活動はプレシディオ、大地のマーケット、味の箱船です。

www.slowfoodfoundation.com

www.earthmarkets.net



いつ、どのように、だれが、どこで、何を…

いつ

2009年12月10日

どのように

テッラ・マードレ・デーはあらゆる方法ですることができます。ピクニックや夕食会、映画の上映やコンサート、小規模生産者の訪問、あるテーマへのキャンペーンや署名運動、味覚教育、テッラ・マードレの代表者たちとの会合など…またはこれらを組み合わせたり、みなさんの創造力を発揮してください!

誰が

我々と目的を同じくするすべての人、特にコンヴィヴィウム、食コミュニティ、料理人、大学関係者、若者、プレシディオ関係者、学校菜園関係者などです。一般参加者を募集してください。そこにはジャーナリストや地方行政関係者、他のアソシエーションの代表なども加えてください。

どこで

テッラ・マードレ・デーのイベントはどこでもすることができます。町で、田舎で、学校で、レクリエーション・センターで、映画館、農場、レストラン、自宅で。

何を

テッラ・マードレ・デーは次のような活動を行うことができるでしょう。



昼食会、夕食会…

学校やレストラン、家や農場、公共の空間におけるピクニック、イートイン、昼食、夕食などは、より広い大衆と、おいしく、きれいで、ただしい食の喜びを共有することができるでしょう。生産者を招いて、参加者たちは彼らを知ることになり、地域食材を楽しむようになるでしょう。またこの機会に、食べ物は喜びであり、文化であり、共生であるということも理解することでしょう。

農場を訪ねる

カナダの自転車での遠足から、フランス・アルプスの電車での旅行、モロッコの学校での遠足まで。ある地域の生産者に出会うための農場訪問は生産者と消費者との絆を強めるための重要なチャンスを与えてくれます。結果として直接の教育体験となり、訪問中は新しい食品を発見したり、生産者から学習したりすることができます。

映画と文化イベント

音楽、劇、口承伝統、芸術は、食文化を批判する精神を作り出すために重要な要素です。特に多くのイベントで、食や食工業の社会や環境ガストロノミー遺産への影響をテーマにした映画やドキュメンタリーフィルムが上映されました。

キャンペーン

テッラ・マードレ・デーの基本理念を、テーマや問題提起を扱ったキャンペーンなどを通して、大衆にアピールすることができるでしょう。スペインではコンヴィヴィウム・リーダーが、消費者に持続性のある魚選びを教えるために、マーケットの広場で料理教室を開きました。モロッコでは農業へOGM作物を導入することについて、政府がきちんとした立場を表明するように説得するために一連のイベントが企画されました。

味覚教育活動

味覚教育活動にはいろんな形があり、子供に大人、教師に農民、会員に共鳴者たちなど、広い大衆を対象に行うことが可能です。この活動には学校菜園や地域の生産者を迎えたガイド付きのテスティング会、世代間の意見交換やワークショップなどが含まれます。

地域レベルでテッラ・マードレを実現する

生産者や料理人、研究者、若者、消費者の間の交流は、おいしい、きれいな、ただしいネットワークの内部における関係を強化し、情報を共有したり、大衆や政治家に対する未来への提言をする機会となります。テッラ・マードレとスローフードの地域ネットワークは、講演会やセミナー、ワークショップ、マーケット、遠足を企画することで一体となるでしょう。



Terra
madre
day

テッラ・マードレ・デーへのいくつかのアイディア

昼食会、晚餐会、ピクニック…..

2008年の9月に、サンフランシスコで最初のイートインが開催されました。250人が(若い農業者、料理人、職人、活動家)食事を共にしながら、持続性のある食の選択というテーマを提唱するためにドロレス・パークに集まりました。席について料理人チームによって準備された地域生産者マーケットの素材や、テッラ・マードレのコミュニティによる素材を使った料理を堪能する前に、ユースフードムーブメントの責任者たちが、問題意識やアイディア提言などについて話をしました。それ以降、アメリカやヨーロッパでは数多くのイートインが開催されるようになりました。www.eat-ins.org

ジョージアでは毎年、野生のフルーツを採集する人たちが、生産者の家で地域コミュニティの他のメンバーも招待して**ホームパーティを伴ったベリーのお祭り**をしています。このフルーツを使った様々な料理を楽しむ食事が終われば、ベリーの実や葉っぱを使ったお茶が振る舞われました。

マルタ支部のオープン記念イベントでは「**1830年の農民料理**」が行われ、参加者に19世紀前半のマルタの農民料理を知ってもらったり、賞味させたりしました。イベントはテッラ・マードレネットワークの教育者と学生によって企画され、Centre of Cultural and Heritage Studiesとのコラボレーションで実現しました。学生たちは歴史的な料理を田舎風の伝統のパンと共にサーブしました。スローフード・パースはテッラ・マードレの料理人であるヴィンチェンツォ・ヴェッレトリと共に、2008年テッラ・マードレ・ランチを企画しました。食材は周りの食コミュニティからもたらされたものでした。次の日にこのスペースはスローフード・マーケットに変貌していました。食品マーケット以外にも教育活動やコーヒーが提供されました。テッラ・マードレの生産者たちも多数駆けつけ、その中の何人かは羊の乳搾りを体験し、そこでフレッシュなチーズを作りました。

生産者訪問

カナダではいくつかのコンヴィヴィウムが、毎年スローフード・サイクルツアーを開催しています。これは**農場や生産者を訪ねる自転車の遠足**で、彼らの仕事についてより学習し、その生産物を賞味するというものです。今年スローフード・バンクーバーは2回これを開催し、カナダの若い料理人と南世界の農業者1人を、2010年テッラ・マードレに参加させるための資金集めをしようとしています。フランスではルシヨン支部が、セラグーズ地方の生産者を訪ねて63キロを移動する、**電車で散歩**を企画しました。ヴィルフランシュ・デュ・コンフランを出発し、手作りのマスタード生産者や地域のチーズ工場、食肉業者に会いに行き、そこからもたらされた肉や他の地域素材を使ってバーベキュー大会で締めくくりました。

モロッコのラバトではコンヴィヴィウムが学校で活動しています。イベントは「**子供をマーケットへ**」といい、子供たちに土地の産物や魚を見せて、伝統食材を学習させます。子供たちは買い物をして、コンヴィヴィウムのメンバーたちが、彼らに買って来た食材を使って簡単で美味しいレシピを教えました。

音楽と映画

アルゼンチンのマル・デ・プラタ支部は、料理に関係した映画を上映することで、食に対する関心を喚起するために、マル・デ・プラタ・スローフード・オン・フィルムを開催しました。これと平行して、テッラ・マードレの生産者をフェスティバルの参加者に紹介するための小さなマーケットを開きました。エチオピアの南西のガモ族に所属する**ザラ・カンバの食コミュニティの音楽家たちは**、伝統楽器を使って、様々な局面と季節における農作業をテーマにした歌のために演奏をします。2008年のテッラ・マードレの後、彼らはエチオピアに帰り、持続性農業というテーマを大衆にアピールするために、コミュニティのあらゆるミーティングで演奏をしました。

キャンペーン

北スペインのテッラ・マードレ料理人たちとデル・ガラフ支部は、スローフィッシュ(魚の責任ある消費のための)の広報のため、2009年に2回の**スロークック・ジャムセッション**を開催しました。バルセロナのボケリアのマーケットの活気の中で、料理人たちは工業的漁業によって消え失せようとしている魚類に代わって、あまり知られていないような、使われないような種類の魚をベースにしたレシピを発表しました。

モロッコではラバト支部が、世論を喚起するために、国内のGM栽培について明確な回答を政府から引き出すための、ミーティングや論議、晩餐会などを企画しました。

味覚教育

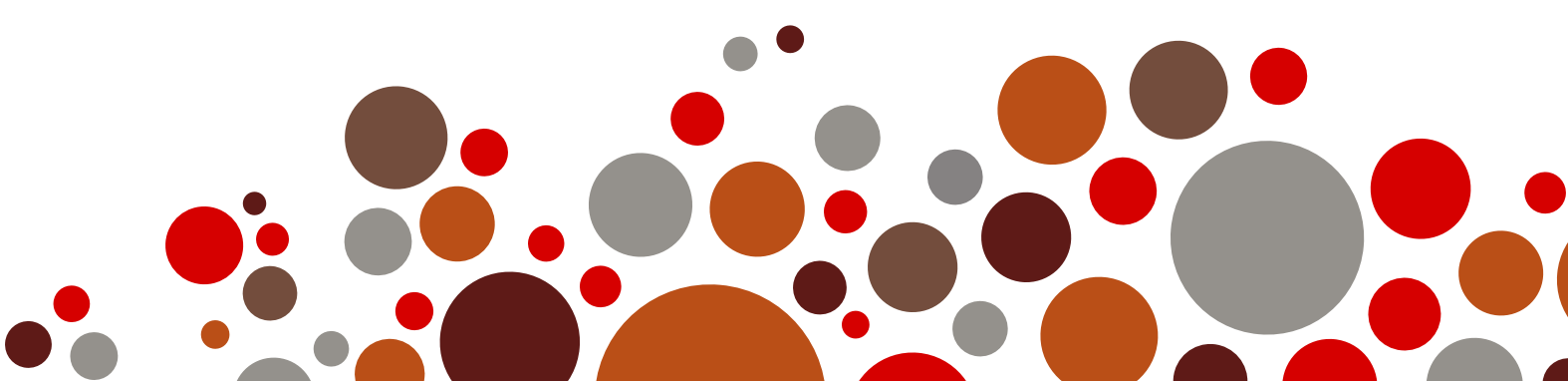
約200人のカナダの子供たちがインタラクティブなイベント「味覚の原点へ」に参加しました。これはスローフード・トロントの監修によるもので、スローフード・プリンス・エドワード・カントリーによって、2009年4月、メープルシロップのお祭りで発表されました。ビデオも使った教育プログラム、一連の試食ゲーム、ガイド付きのテースティングは、大人にも子供にも適したもので、イベント、教室、自宅でもできるいくつもの種類のコンテンツをふくんでいます。キットの購入はスローフードの次のアドレスにコンタクトください。education@slowfood.com.

2009年の4月、ウガンダのムコノ地区の学校から164人の子供たちと17人の教師が、「フルーツとジュース祭り」に参加しました。これは地域の数多くの自生フルーツについて子供たちに知ってもらうために、スローフード・ムコノとテッラ・マードレのコミュニティがオーガナイズしたものです。ブラジルではピレノポリス支部とバルくるみプレシディオが、1年以上前からコラボレーションをしています。コンヴィヴィウムの会員たちは、この地域のくるみの栽培と料理や薬としての使用について知識を得るために何度も生産者を訪問しています。今年はバルーくるみの収穫にも参加し、バルゼイロ（バルーの木の森）の木陰で伝統料理に舌鼓を打つことになっています。

各地のテッラ・マードレ

ブラジル・テッラ・マードレは2007年10月に行われました。国中から、他のすべてのラテンアメリカより農業者、料理人、研究者600人が集まり、地域の持続性のある食料生産について、自然の生物多様性と文化の多様性の保護について議論しました。イベントは一部一般公開され、そこではプレシディオのマーケット、味覚ワークショップ、テッラ・マードレの料理人による伝統料理の提供がありました。

テッラ・マードレ・トスカーナは、この中央イタリアの食コミュニティや、スローフードや他の協会のメンバーやリーダー、地域や県、州の代表者などを集めるために2008年1月に行われました。ミーティングは2日間続き、ネットワークの目的や将来の発展、原則を決めた草案を作るというのが、主な目的の一つとされました。





テッラ・マードレ・デーのイベントをどう企画するか

企画委員会をつくる

イベントをオーガナイズするにあたってのアドバイスは、すでに旧知の人々やコラボレーションしている食コミュニティと作業するということです。これでよいスタートを切ることができますが、新しいメンバーを迎えて、計画段階から参加させることで、より効果的で長続きするイベントにすることができます。

ですからテッラ・マードレ・デーの目的について議論しようとするすべての人々を招待してみてください。できるだけ早く日程と場所を決めて、ミーティングをしてください。イベントの企画とオーガナイズには時間がかかりますから。

イベントと場所を決定する

運営委員会と共に、いろんなアイデアを検討しましょう。自分の町について、町が提供してくれるものについて、土地の食文化について、町を唯一無二にしているものは何か、何を完全したいかということについて考えましょう。そしてどのような人々に向けてイベントをするかを考えましょう。両親、若者、政治家、ジャーナリスト、会員など。この人々の関心を引くには何がいいか？イベントに参加しようと思わせる要素は何か？集客をあげて意義あるイベントにするには何が必要かを考えましょう。どんな場所でやるかということについては、ぜひあなたの創造力を働かせてください。農場、レクリエーションセンター、映画館、レストラン、学校など。イベントは地域のお祭りとなったり、遠足や自転車や電車の旅であったりすることでしょう。

地域コミュニティを感化し、イベントを広報

イベントの詳細を決めたら、広報を始めます。どうやって広報するかという項目も参照ください。情報を広め、参加させたいと思う人々すべてに声をかけてください。どうやってイベントの開催地に着くか(車で、公共の移動手段)や、何を持ってくるかを忘れずに伝えましょう。

やることリストでチェック

イベント前、イベント期間中にもやることリストを作っておきましょう。イベントの性格にもよりますが、やることリストに入れるべきかもしれない事項をここに挙げておきます。

- イベント会場の確認はとりましたか?必要な許可はとりましたか?
- 必要になるかもしれないテーブルやイスは準備しましたか?会場にテーブルがない場合、地域の商業者やレクリエーションセンターに貸してもらうなどしてください。イベントに多くの人を動員したいなら、ピクニックやビュッフェにするのがいいでしょう。
- 会場への行き方を説明済みですか?持参品については説明しましたか?
- 必要になるかもしれないお皿やキッチン用具などを用意しましたか?参加者に更谷コップを持って来させることでゴミの量を減らしましょう。
- プラスティックボトルのミネラル水を避けるために、水道水を用意しましたか?参加者はリサイクル可能なボトルや水筒をもちよったりすることもできるでしょう。
- ポスター、ペン、参加者リスト、マイクロフォン、カメラなどを用意しましたか?
- ジャーナリストや特別な来客の相手をするスタッフを用意していますか?
- 写真やビデオ要員は?
- 参加者の氏名、住所、メール、電話番号などを集める罫を決めましたか?イベント後にコンタクトする人々のリストがあることは、キャンペーンの成功に不可欠です。

スタート!

写真を撮って、メールアドレスを集めるのを忘れずに。イベントをお楽しみください!



イベントの広報

プレスリリース

地域レベルでイベントを広報するために、プレスリリースが有効かもしれません。より有効なものにするには「いつ、どんな、誰が、どこで、何を」というリストにするのがいいでしょう。それぞれに短いフレーズで説明を入れるのです。それは簡潔で魅力的なものでなくてはなりません。次に例を挙げます。

誰が: スローフード・〇×コンヴィヴィウム

何を: スローフード・〇×コンヴィヴィウムは(イベントの内容を簡潔に。例えば味覚教育のワークショップ)を、地域食材のプロモーションために企画しているところです。

どこで: (場所名とどうやって行けるかを説明します)

いつ: 2009年12月10日(時刻を入れます)

どんな: (テッラ・マードレ・デーに参画する理由と、その地域レベルでの意義を説明します)

テッラ・マードレ・デーのお祭りは、地域食材の価値を広め、すべてのコミュニティの復権と存在保証への権利を主張します。

おいしく、きれいで、ただしい食へのアクセス

- ・ 農業と食の生物多様性
- ・ 小規模の食品生産
- ・ 食の主権
- ・ 言語、文化、伝統知識の保護
- ・ 環境に配慮した食品生産
- ・ フェアトレードと持続性商活動

注意: 11月にスローフードは登録されているオーガナイザーに対して、プレスリリースを配布します。そこにはイベントの詳細を書き込めるようにしています。

新聞社への手紙

地域の新聞がどのような記事を必要としているのか、最大字数、テキストの提出期限などを調べましょう。次に念頭に置いておくべき点を列記しておきます。

- 自分の個人的な経験に照らし合わせながら、テラ・マードレ・デーの7つのテーマがどのように地域に重要であるかを説明してください。
- 具体的な解決策を提示し、自分の地域で始められたプロジェクトについて語ってください。
- このような手紙に割かれている語数制限を守りながら、明瞭で簡潔な方法で書いてください。
- 最初の段落には主要事項を書きましょう。統計や具体的な事項を入れて、説得力のあるものにしましょう。
- 手紙にサインをし、電話番号、メールアドレスなどを加え、編集局があなたとコンタクトができるようにしましょう。
- 郵便またはファックス、メールで書面を送ります。
- 書面が届いたかどうかを編集局に確認し、いつ発表されるかを聞きましょう。

ポスターとチラシ

スローフードが準備したグラフィック資料を使って、人々が容易に見ることができるようなところへ掲示してください。学校、多目的センター、図書館、マーケット、商店など。

キットの中にあるメール配信用の招待状を使うか、チラシをPDFで保存してコンタクト先に送付してください。それをプリントしてオフィスや学校、事務などに掲示してもらいます。



インターネット

スローフード本部の担当者に情報を提供してください。それによってテッラ・マードレ・デーの公式サイトにあなたのイベントを登録することができます。それによってスローフードと世界中の人々が世界キャンペーンにおけるあなたのイベントについて知ることができます。

イベントの詳細をオンライン・フォーラムに報告してください。

- あなたのサイトまたはあなたの支部のサイト
- Facebookまたは Twitter
- 他の有用なサイト(地域のブログ、地域イベントをリストにしているサイトなど)

メールでチラシを配る以外に、すべてのコンタクト先に自分がオーガナイズしていることについて説明してください。彼らにもこの情報を他の人たちに伝えるように言ってください。

コンヴィヴィウム、コミュニティ、プレシディオ、スローフードの国内グループ、地域グループとコラボレーションしてください。

テッラ・マードレ・デーは、同じ理想を掲げる人々をつなげ、会合させるための最も良い機会となるでしょう。スローフード支部の一員であっても、地域の食コミュニティやプレシディオとのコンタクトのない方は、より効果的なイベントにするために一緒に頑張りましょう。

コンヴィヴィウムや食コミュニティが、より高レベルの地域単位で作業をすすめたいと考えることもあるでしょう。サイトのページ内ではあなたの地域のテッラ・マードレ食コミュニティ、コンヴィヴィウム、プレシディオやアルカの生産者を見つけることができます。

テッラ・マードレの食コミュニティ:

www.terramadre.info/pagine/rete/comunita.lasso

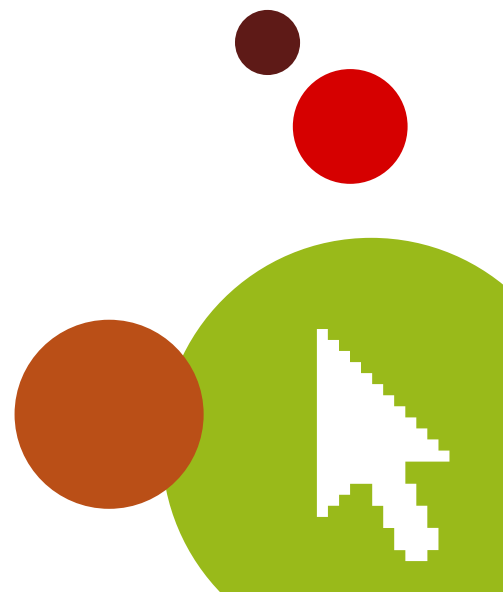
アルカとプレシディオの生産者:

www.slowfoodfoundation.org/eng/arca/lista.lasso

www.slowfoodfoundation.org/eng/presidi/lista.lasso

スローフードのコンヴィヴィウム

www.slowfood.com/about_us/eng/where.lasso





持続性のある結果を出すには

テッラ・マードレ・デーのイベントが具体的な効果を及ぼし、持続するようなものになるために、すべきことはたくさんあります。

テッラ・マードレは地域のプロジェクトを打ち上げたり、広報するのに絶好の機会です。または自分の地域の歴史や文化と結びついた、絶滅の危機に瀕している、十分に評価されていないようなおいしく、きれいで、ただしい地域食材を広報するのに役立つと言うことです。

このような効果をあなたのイベントで得るには、たくさん方法があります。味覚ワークショップや晩餐会、生産者訪問など。

テッラ・マードレ・デー参加者の**氏名とコンタクト先を収集**（特にメールアドレス）して、コンタクトを続ける。このリストはイベント前にも作成することは可能ですが、予期していなかった賛同者のデータを集めるのも忘れないようにしましょう。

イベント終了後は参加者たちとのコンタクトを保つと同時に、**他の協会などとの関係**を深めるようにしましょう。または地域行政、コミュニティのメンバーなどとも。自分の地域においしく、きれいで、ただしい食品生産をさせるため、より強いネットワークを形成し、より効果的に作業を進めてゆくためです。

スローフードに所属していない人を誘って、自分のコンヴィヴィウムに入ってもらいましょう。

テッラ・マードレ・デーの話、写真、ビデオなどをみんなで**共有**できるようにしましょう。

- スローフードのコミュニケーション・オフィスへ収集した資料を送ってください。
い。communication@slowfood.com
- 資料を地方の新聞社へ送ってください。
- 自分のコンヴィヴィウムのサイト、個人サイト、ブログなどへ資料をアップしてください。



質問と答え

1. テラ・マードレ・デーの企画案を提出するにはどうすればよいでしょうか？

www.slowfood.com/terramadredayより、専用フォームに企画案をご記入ください。もしくは、tmday@slowfood.comまで、直接、企画案の詳細をお送りください。

2. テラ・マードレ・デーのイベントを開催するにはコンヴィヴィウムのリーダーである必要がありますか？

いいえ。スローフードの理念である‘おいしい、きれい、ただししい’という考えを共有してくださる方であればどなたでも、各地域でテラ・マードレ・デーを祝うこのイベントを開催いただけます。

3. テラ・マードレ・デーのイベントを開催するにはスローフード会員である必要がありますか？

いいえ。スローフードの理念である‘おいしい、きれい、ただししい’という考えを共有してくださる方であればどなたでも、各地域でテラ・マードレ・デーを祝うこのイベントを開催いただけます。しかしながら、スローフードは会員により支えられている団体であり、新たな会員はより強固なネットワークを生み出します。入会ご希望の方は、www.slowfood.comをご参照ください。また、お近くのコンヴィヴィウムをおさがしの方はwww.slowfoodjapan.net/convivia/convivia.htmlをご参照ください。

4. テラ・マードレ・デーのイベントを開催するにはテラ・マードレ・コミュニティーやプレシディオ・プロジェクトに携わっている必要がありますか？

いいえ。その必要はございません。テラ・マードレ・コミュニティーやプレシディオ・プロジェクトにご興味のある方は、www.slowfood.comをご参照ください。

5. テッラ・マードレ・デーのイベントは12月10日に開催されなければならないのでしょうか？
2009年12月10日はスローフード誕生20周年にあたり、世界中で同じ日にテッラ・マードレ・デーのイベントが開催されれば力強いメッセージを広く伝えることができます。
しかしながら、2009年12月10日は木曜日であるため、地域によっては週末にイベントを開催したいという意向もあるでしょう。したがって、2009年12月10日から13日にかけて行われるすべてのイベントがテッラ・マードレ・デーを祝うイベントと見なされます。

6. テッラ・マードレ・デーの企画案登録後の工程について教えてください。
企画案を登録いただいた後、スローフードのスタッフがご連絡をさしあげます。その後、工程に関する詳細に関して担当のスタッフと打ち合わせをしていただきます。企画内容が確定するとテッラ・マードレ・デー専用インターネットサイトにてご提案いただいた企画が発表されることになります。

7. テッラ・マードレ・デーの企画案をインターネット上で共有してもよいのでしょうか？
確定された企画案はウェブサイトに掲示され、どの地域でどのようなイベントが行われるかを確認できるようになります。ホームページやブログをお持ちの方はそちらでも企画案を多くの方と共有してください。

8. どうすれば近隣でテッラ・マードレ・デーのイベントが開催されるかを知ることができますか？
いくつか方法がございますが、まずはスローフードのウェブサイトにてお近くでのイベント開催があるかどうかをご確認ください。もしくは、お近くのコンヴィヴィウムの責任者へご連絡ください。

9. どのようなイベントを提案するべきでしょうか？
テッラ・マードレ・デーのイベントを開催する方法は大小問わず無限にあります。テッラ・マードレ・デーを祝うというコンセプトのもとで、ピクニック、ディナー、映画の上映会、生産者訪問、試食会などはいかがでしょうか。
詳しくはwww.slowfood.com/terramadredayにて小冊子(Booklet)をご確認ください。

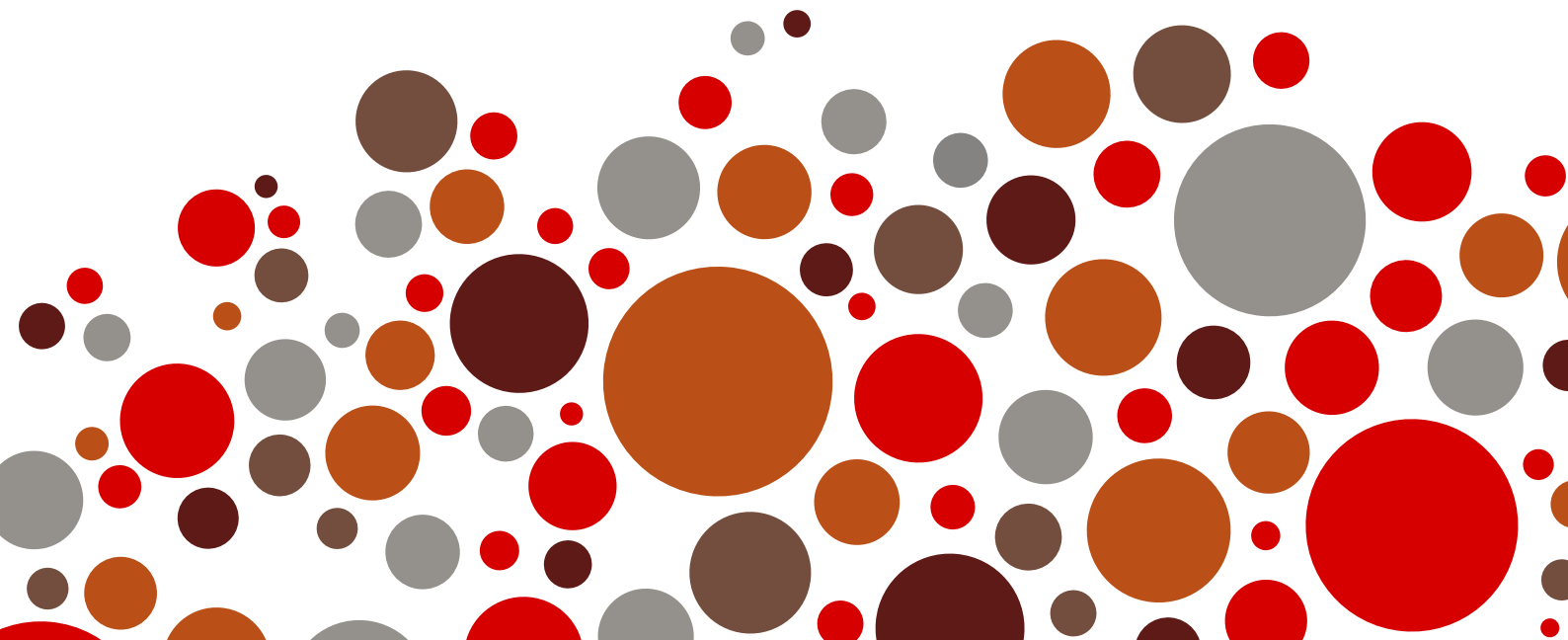
10. テッラ・マードレ・デーのイベントを開催するために資金を集める必要がありますか？
大規模で多くの費用がかかるイベントを開催していただく必要はございませんが、開催していただくイベントにかかる費用のための資金集めは必要に応じて行ってください。ボランティアスタッフ、生産者、料理人、自治体など様々な関係者に支援を呼びかけてみてください。

11. 企画するテッラ・マードレ・デーのイベントには何人ほどの参加者を集めるべきでしょうか？
各イベントへの参加人数の基準はございません。規模の大小にかかわらず、すべてのイベントが現在の食を取り巻く環境を改善し、更なる変化へ向けての重要なステップになると考えています。

12. スローフードはチラシ、ポスター、バナー等を供給してくれますか？
はい。スローフードのウェブサイトよりイベント用のテンプレートをダウンロードしてご利用ください。

13. スローフードおよびテッラ・マードレへの寄付行為に関して教えてください。
スローフード及び各プロジェクトへの寄付に関してはwww.slowfood.com/donate/welcome.lassoをご参照ください。
皆様からの寄付は発展途上国での小規模生産者の支援、プレシディオ・プロジェクトによる地域活性化、テッラ・マードレネットワークの強化などのプロジェクトに使用させていただきます。

14. テッラ・マードレ・デーのに関する詳しい情報照会先を教えてください。
www.slowfood.com/terramadredayをご参照ください。
お近くのテッラ・マードレ・デーイベントの担当者をお知りになりたい場合は、E-mailにてtmday@slowfood.comまでご連絡ください。





スローフード

1989年にファーストフードとファーストライフに対抗するために生まれたスローフードは、150カ国に10万人の会員を抱える、エオコガストロノミー国際協会です。スローフードは自分が食べるものに正しく重要性を与えることを意味し、そのオリジンと生産者の労働を知り、季節のリズムを尊重し、日常の食の選択が地球の未来に影響を与えるということを意味します。とりわけスローフードは、楽しみと責任を分かちがたく結びつけながら、これらすべてを行うことを意味します。

スローフードは国際レベルから地域レベルまで、地域の手作り食材の知識を普及したり、持続性農業を提唱し、生産者と消費者（むしろ共生産者と呼びましょう）を結びつけるためにイベントを企画します。スローフードは出版局を通して、本やガイドブック、雑誌を創刊しています。

その味覚教育のプロジェクトをもって、スローフードは新しい認識を作り出し、倫理的な社会変革を推進しながら、食を良く知るための手助けをし、どこから食材が来るのか、どのように作られたか、誰によって作られたかを知るための手助けをします。

www.slowfood.com



生物多様性のためのスローフード基金は、新しい経済モデルを創出し、それを実際に世界中で実践しながら、小生産者によるコミュニティを強化し、食の生物多様性を守り、伝統食材を保護し、地域を再評価します。その主要プロジェクトはプレシディオ、大地のマーケット、味の箱船です。

www.slowfoodfoundation.org



テラ・マードレは世界の食生産者や農民に声を与え、料理人や大学関係者、若者とコンタクトさせ、食システムと流通システムを改善するための国際ネットワークを実現するために2004年に生まれました。ミーティングは地域で、州で、国際レベルで行われます。2年ごとにトリノ市では食コミュニティの全体集会が行われます。

www.terramadre.org



Slow Food®